

# 病院ボランティアを募集しています！

## “病院ボランティア”とは

病院内で医師・看護師・その他の職員と協力して、患者様が少しでも良好な環境のもとで安心して治療ができるように、自発的に無報酬で奉仕する方のことです。



## 活動する日

平日の午前8：30から午後4：00の間で、都合の良い時間帯。  
週1回以上で、1回の活動時間はおおむね2時間以上。

## 活動内容

- 患者様の案内（各診療科、放射線科、検査科等へ）
- 車椅子利用者への介助、誘導
- 花の水かえ
- 本棚の整理
- 掲示物の整理
- 屋外のごみ拾い、草取り
- その他 できること

## いつもありがとうございます！

柿崎区 小山智恵子さん(火曜日午前)  
田中操さん(水曜日午前)  
ご協力に感謝いたします。

お問い合わせ、お申込みは事務長、看護部長へどうぞ



## 外来診療担当表



診療科	受付時間	月	火	水	木	金
総合診療科	午前 8:30~11:30	1診 藤森	藤森	藤森	眞水(飛)	眞水(麻)
		2診 木島	眞水(飛)	眞水(麻)	水戸	木島
		3診 眞水(麻)	眞水(麻)	第1・3・5 眞水(飛) 第2・4 水戸	木島	
外科	午前 8:30~11:30	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
眼科 (完全予約制)	午前 8:30~11:30			塚本 診療10:00~		
	午後 13:00~14:00			塚本 診療13:00~		
皮膚科	午前 8:30~11:00		濱田 診療9:00~			
	午後 13:00~15:00			労災病院 診療13:30~		
婦人科	午後 13:00~15:30					新潟大学 診療14:00~
耳鼻 咽喉科	午後 13:00~15:00		新潟大学 診療13:30~			新潟大学 診療13:30~
整形外科	午前 8:30~11:00		労災病院 診療10:00~	労災病院 診療10:00~		

- 眼科は完全予約制ですので、あらかじめ電話での予約をお願いします。(予約受付：平日午後2時~)
- 外来の予約変更のお電話は、平日午後2時以降にお願いします。

# 柿崎病院だより



発行日：平成28年9月1日  
発行元：新潟県立柿崎病院  
〒949-3216  
上越市柿崎区柿崎 6412-1  
TEL 025-536-3131  
FAX 025-536-3136  
ホームページ <http://kakizaki-hp.niigata.jp/>

## 地域医療の力を感じて・・・

看護副部長 吉沢清美



連日のように事件、事故、テロ等と暗いニュースが報道されます。今年は、熊本地震という大災害もありました。各地で地震が起きている中、災害発生時の行動について考えておく必要性を感じています。

その中であって、今年はリオオリンピックが開催され、日本選手を応援し楽しませていただきました。

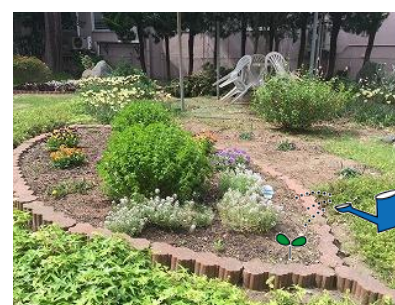
私ごとになりますが、以前柿崎病院には平成23年から平成25年の3年間勤務させていただきました。当時、私は急性期病院からの異動となり、地域医療を経験することで、地域に根差した医療の大切さを感じることができました。病院では出前健康講座や地域講演会等でヘルスプロモーション活動の実施、地域の方々から協力いただき、病院美化に積極的に取り組んでいます。特に、中庭の花壇づくりには地区の方からご指導いただきました。最初は、草が多く殺風景なところでしたが、地域の方々、職員と一緒に花壇の土づくりから始めて、可愛い中庭が出来上がりました。今年2年ぶりに戻ってきて、ハートフル(柿)ガーデンという名前が付けられ、花が増えて一層きれいになっていました。皆さんが継続してやられていたことを嬉しく思いました。今年も5月に花壇の花植えを終え、中庭が花いっぱいになっています。病院に来られたら是非見ていただくと嬉しいです。日中は外にも出られますので、見てください。

訪問診療にも同行させていただきました。そこで驚いたことは、平成25年当時、誤嚥性肺炎で入退院を繰り返していた方が、最近は全く入院することがなくなったということです。これにはご家族の介護力と、それを支える医療者、介護者の連携を感じることができました。まさしく地域医療の力を感じて帰ってきました。

柿崎病院の地域連携室では、社会福祉士、退院調整看護師、訪問看護師が常勤しています。医療面、生活面でご心配、ご不明なことがあれば、地域連携室に声をかけて下さい。医療相談をお受けいたします。その他に今年から、フットケア外来を金曜日にも拡大いたしました。糖尿病の患者さんで、気になる症状のある方はお尋ねください。

日本は超高齢化社会に入り、多死社会になってきています。今年は診療報酬が改定され、さらに在宅医療の充実が望まれているように思います。

最後に、ある本の1節からです。「何もできなくてもいい。ただ笑顔でいよう。不機嫌は人の心をむしばむ。笑顔でいると、不思議と何事もうまくいく。微笑まれた相手も、自分も心豊かになれるから。」というものです。相手の心を癒す力のある、笑顔でいたいと思っています。



## 薬剤部



近年、医療技術の進展と共に薬剤療法が高度化しています。その中で良質かつ安全な医療の確立を図ることが求められており、薬剤師は薬物療法を安全かつ効果的に実施する上で重要な役割を担っています。

従来の病院薬剤師は、調剤や医薬品の供給を中心に薬剤部内の調剤室での業務に従事することが多かったのですが、現在では多職種医療チームの中で薬の専門家として薬物療法に参加しています。今回は薬剤師がその中でどのような業務を行っているか紹介します。

### ①【調剤】

主に入院患者さんのお薬を調剤します。処方箋に記載された薬の量や使い方が適切であるか、また薬の飲み合わせ（相互作用）や重複投与も確認します。疑問点がある場合には、医師に確認した上で調剤します。

### ②【注射薬調剤】

入院患者さんに投与される注射を処方箋に基づいて一人分ずつセットし供給しています。その際、投与速度、投与時間、相互作用、配合変化などをチェックしています。細菌感染の危険性が高い高カロリー輸液（栄養輸液）は、クリーンベンチ内で無菌的に調製しています。

### ③【薬品情報管理】

医薬品の安全性や適正使用に関して情報を収集・分析し、提供しています。また、薬の副作用、注射剤の投与方法や安定性、配合変化などに関する医師や看護師からの問い合わせにも対応しています。

### ④【薬剤管理指導】

患者さんの入院から退院までのお薬について確認します。相互作用や重複投与はもちろんのこと副作用歴・アレルギー歴なども確認して、安全な薬物療法が行えるように医師・看護師へ情報をフィードバックしています。患者さんに正しい服用方法や効果・副作用などの情報も提供しています。

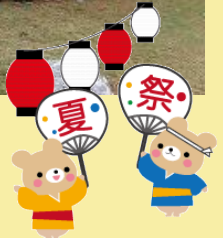
### ⑤【チーム医療への参加】

感染対策チーム（ICT）や栄養サポートチーム（NST）の一員として院内感染や耐性菌対策、最良な栄養管理をサポートしています。

この他にも薬剤の適正な保管・管理や各種患者教室で薬剤について講義等を行っています。今後も地域に密着した病院として、患者さん中心の安全で安心な医療を実現するために医薬品の適正使用を推し進めていきたいと思っております。



6月22日（水）、柿崎区の一大会イベントである“報恩講お引き上げ”のフィナーレを飾る民謡流しに柿崎病院チームが参加しました。今年も地域の皆さまから温かい声援をいただきました。ありがとうございました。



## セタコンサートを開催しました



7月7日（木）、1階待合ホールで恒例のセタコンサートをを行いました。職員によるハンドベル演奏、大湯オカリナアンサンブルさんによるオカリナ演奏、合唱団てくてくさんには懐かしの歌の合唱を披露していただきました。



## 第8回頸北地区の医療を考える会を開催しました

7月2日（土）、柿崎コミュニティプラザにて第8回頸北地区の医療を考える会を開催しました。基調講演では上越医師会理事の揚石義夫先生から地域包括ケアについてお話をいただきました。シンポジウムでは、地域包括ケアに関連する様々な職種の方からそれぞれの立場で地域包括ケアの重要性についてお話いただき、会場の皆さんと一緒にこれからの在宅医療、地域包括ケアについて考える機会となりました。

